# ブロック別の動向

前月と比べたDI値の動き　↗ 改善　→ ほぼ横ばい　↘ 悪化

**北海道**

**北海道は、改善**。製造業では、夏季観光シーズンの本格化による需要拡大やインバウンド消費の広がりにより、食料品製造業を中心に売上・採算が改善した。サービス業では、観光ピークを迎えた道内各地の人出の増加を受け、宿泊業を中心に業況が改善した。飲食店からは、価格転嫁に一定の進展がみられる中、地域でのイベント開催による集客効果を期待している、との声が聞かれた。

**東北**

**東北は、改善**。建設業では、公共工事の増加が受注を下支えする中、手持ち工事の着実な消化により、売上・採算が改善した。製造業では、省人化や自動化に向けた設備投資需要を受け、精密機械製造業を中心に売上・採算が改善した。木材加工の事業者からは、大型貨物の物流網が変化する中、自社トラックを活用した配送ルートの見直しを進めることで、小口需要に柔軟に対応し効率的に配送できている、との声が聞かれた。

**北陸信越**

**北陸信越は、ほぼ横ばい**。サービス業では、好調な訪日外国人客に加え、夏休みシーズンに伴う人出の増加を受け、宿泊業を中心に売上が改善した。一方、建設業では、資材高騰や人手不足等の影響により、売上・採算が悪化した。石川県珠洲市の事業者からは、人手不足で営業活動に時間を割けず売上が伸び悩んでいる、との声が聞かれた。また、能登にポケモン空港が誕生したことによる観光の盛り上がりを期待している声もあった。

**関東**

**関東は、改善**。卸売業では、猛暑に伴う清涼飲料の需要拡大などを受け、飲食料品卸売業を中心に売上・採算が改善した。製造業では、自動車や産業機械向け需要が堅調に推移し、金属製品製造業を中心に売上が改善した。自動車関連の事業者からは、業績の持ち直しを背景に、電気代をはじめとする経費削減に向け、工場のエアコンや照明を省エネ製品に切り替える設備投資を実施している、との声が聞かれた。

**東海**

**東海は、改善**。建設業では、既存施設の改修や設備工事が進んだことから、採算が改善した。板金工事の事業者からは、受注は順調に推移する一方、中東情勢の影響でプラスチック不足が依然として続いており、先行きの不透明感が残る、との声が聞かれた。小売業では、台風の影響による一時的な客数の伸び悩みはあったものの、猛暑に伴う暑さ対策品の需要増などが支えとなり、総合スーパーや商店街を中心に、業況が改善した。

**関西**

**関西は、悪化**。卸売業では、住宅着工の低迷に伴う需要減少や石油関連製品を中心とした仕入価格高騰を受け、住宅関連の建築材料卸売業などで売上・採算が悪化した。小売業では、物価高による消費者の節約志向の高まりから買い控えの動きが広がっており、総合スーパーを中心に売上・採算が悪化した。一部事業者からは、ドライバー不足による配送遅延で商品が届かず、販売に影響がみられた、との声が聞かれた。